

平成25年8月27日

松山河川国道事務所調査第一課

かいほつかすみ
「第2回開発霞ワークショップ開催」

～重信川開発霞の課題解消にむけた具体協議を実施～

東温市上村の重信川開発霞（かすみの森公園）において、自然環境復元に向けた計画づくりを議論する第2回目のワークショップを開催します。

◆日時

平成25年9月2日（月）10:00～12:00

◆場所

東温市役所4F 403会議室

（東温市見奈良530-1）TEL：089-964-2001

◆開発霞ワークショップ

「開発霞ワークショップ」は、学識者4名、公募メンバー15名、オブザーバー(行政等)4名の合計23名で構成されています。今回は、第1回会合及び現地調査で明確となった課題について、解消策を検討するとともに、保全対象生物の保全・再生に向けた検討を行います。予定している議事は以下のとおりです。

- 課題解消に向けた検討
 - ①水の確保の方策
 - ②既存施設の有効活用
 - ③地域での活用を考えた整備
- 保全対象生物の保全・再生方法の検討

◆備考

- ・傍聴、撮影は自由ですが、進行中に発言はできません。進行の妨げになると事務局が判断した場合は、退場していただく場合があります。
- ・質問等については、ワークショップ終了後事務局が対応します。

詳細については当事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>）をご覧ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

副所長（河川）：関谷 浩二（内線：204）

◎ 調査第一課長：岩本 康宏（内線：351）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6612

◎：主な問い合わせ先

第1回 開発霞ワークショップ

～重信川開発霞で自然再生事業に関する計画づくりを開始～

東温市上村の重信川開発霞（かすみの森公園）において、自然環境復元に向けた計画づくりを議論する第1回目のワークショップを開催しました。

「開発霞ワークショップ」は、学識者4名、公募メンバー15名、オブザーバー（行政等）4名の合計23名で構成されており、今回実施したワークショップの内容は以下のとおりです。

- 出席者自己紹介
- 重信川の現状把握
- ワークショップの進め方
- 開発霞についての意見交換
- 意見発表および総括



日時・場所

日 時：平成25年6月24日（月）15:00～17:00

場 所：東温市役所403会議室

重信川の現状把握

事務局より、開発霞周辺の現状や課題について説明を行いました。



ワークショップの進め方

ファシリテーターの二神先生よりワークショップについての説明がありました。



意見交換

今回のワークショップ参加メンバー18名が4班に分かれ、各班ごとに、開発霞の過去や現在の状況（環境面、利用面等）について情報交換を行いました。

また、開発霞の望ましい姿（あったらいいもの、ないほうがいいもの）についても意見交換を行い、抽出した意見をポストイットに記入し、各班ごとに意見集約を行いました。



意見発表および総括

各班で集約した意見について、代表者による発表が行われました。

最後に、ファシリテーターの二神先生より、総括として以下のコメントを頂きました。

- よく使われているので、今の施設を壊して自然を再生するのではなく、自然に配慮しつつ、むしろ今の施設をより使い勝手のよいものにする。
- 大きな問題は水を確保すること。年間を通じて水が流れていた昭和36年代のように、小川に水が確保されていること。
- 実際使っているのは地元の人ではなく、松山市を中心とする方が使われている。地元の人が使えそうな整備というのも大事である。

